

事務事業評価事業一覧表(令和4年度決算)

企業会計

下水道事業会計

事務事業番号	款	項	目	担当部署	事業の評価	ページ
	事業名					
	資本的支出	建設改良費	下水道築造費			
01010105	管渠築造事業			下水道課	A	457
01010106	ポンプ場築造事業			下水道課	A	458
01010107	下水処理場築造事業			下水道課	A	459
	資本的支出	建設改良費	固定資産取得費			
01010408	固定資産整備			下水道課、下水処理センター	A	460

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01下水道築造費

事務事業番号 01010105

事業名		管渠築造事業		担当部署	上下水道部 下水道課		
根拠法令		下水道法、下水道法施行令、苫小牧市下水道条例					
令和4年度決算額		1,181,540	千円	項目評価			
財源内訳	国道支出金	159,866	千円				
	地方債	900,895	千円				
	その他	4,580	千円				
	一般財源	116,199	千円				
事業費（総計）		1,181,540	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 総合評価 A </div>			
決算額		1,181,540	千円				
人件費		0	千円				
事業の目的		下水道管は、汚水や雨水を排除することで、衛生的な市民生活を維持すると共に、大雨の浸水被害を軽減する重要な施設です。その機能を維持するため、下水道管の整備や老朽化した下水道管の改築更新を計画的に行います。					
事業の内容 SDGs17の目標		<p>1 汚水管整備について 糸井地区などの下水道未整備箇所において、汚水管を整備しました。</p> <p>2 雨水管整備について 近年の集中豪雨による浸水被害を軽減するため、しらかば町などで雨水管整備や、沼ノ端地区で雨水ポンプ所のポンプ更新などの大雨対策を実施しました。</p> <p>3 老朽化対策について 管渠（きょ）の流下機能を維持するため、ストックマネジメント計画に基づき、旭町などで老朽化した管渠（きょ）の改築更新を実施しました。</p>				 【下水道管新設】 【下水道管改築】	
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度
		下水道普及率		%	99.3	99.3	99.2
		雨水面積整備率		%	76.3	75.1	74.8
		改築・更新延長		km	25.1	21.9	18.3
項目評価		高 → 低		評価の理由			
		4	3	2	1		
有効性		●				下水道管の整備や改築更新を行う事業であり、衛生的で安全安心な市民生活に欠かすことができない事業です。	
効率性			●			国の交付金を活用しながら、経営戦略及びストックマネジメント計画等に基づき、計画的かつ効率的に事業を実施しています。	
公平性		●				公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全に資する事業であり、衛生的で安全安心な市民生活の維持に欠かすことができない事業です。	
将来性		●				衛生的で安全安心な市民生活を維持するため、継続して事業を実施していく必要があります。	
総合評価		A		衛生的で安全安心な市民生活の維持に欠かすことができない下水道整備を、国の交付金を活用しながら、経営戦略及びストックマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に実施しています。			
特記事項		事業費には、人件費が含まれています。					

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01下水道築造費

事務事業番号 01010106

事業名		ポンプ場築造事業		担当部署	上下水道部 下水道課						
根拠法令		下水道法、下水道法施行令、苫小牧市下水道条例									
令和4年度決算額		36,192	千円	項目評価							
財源内訳	国道支出金	17,457	千円								
	地方債	18,581	千円								
	その他	154	千円								
	一般財源		千円								
事業費（総計）		36,192	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 総合評価 A </div>							
決算額		36,192	千円								
人件費		0	千円								
事業の目的		ポンプ場は、汚水を下水処理センターに送水することで、衛生的な市民生活を維持する重要な施設です。その機能を維持するため、老朽化した設備の長寿命化や改築更新を計画的に行います。									
事業の内容 SDGs17の目標		<p>老朽化対策について ポンプ場の機能を維持するため、ストックマネジメント計画に基づき、幌内川中継ポンプ場のゲート設備の改築更新を実施しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p style="text-align: center;">【幌内川中継ポンプ場ゲート設備】</p>									
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R4年度	R3年度	R2年度			
		更新機器数			点	2	2	6			
項目評価		高 → 低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							ポンプ場の施設整備や改築更新を行う事業であり、衛生的で安全安心な市民生活の維持に欠かすことができない事業です。		
効率性			●						国の交付金を活用しながら、経営戦略及びストックマネジメント計画等に基づき、計画的かつ効率的に事業を実施しています。		
公平性		●							公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全に資する事業であり、衛生的で安全安心な市民生活の維持に欠かすことができない事業です。		
将来性		●				衛生的で安全安心な市民生活を維持するため、継続して事業を実施していく必要があります。					
総合評価		A				衛生的で安全安心な市民生活の維持に欠かすことができないポンプ場の施設整備を、国の交付金を活用しながら、経営戦略及びストックマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に実施しています。					
特記事項		事業費には、人件費が含まれています。									

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01下水道築造費

事務事業番号 01010107

事業名		下水道処理場築造事業		担当部署	上下水道部 下水道課				
根拠法令		下水道法、下水道法施行令、苫小牧市下水道条例							
令和4年度決算額	558,093	千円	項目評価						
財源内訳	国道支出金	256,274	千円						
	地方債	294,824	千円						
	その他	2,381	千円						
	一般財源	4,614	千円						
事業費（総計）	558,093	千円	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 総合評価 A </div>						
決算額	558,093	千円							
人件費	0	千円							
事業の目的	下水処理センターは、汚水を浄化することで公共用水域の水質を保全し、衛生的な市民生活を維持する重要な施設です。その機能を維持するため、老朽化した設備の長寿命化や改築更新を計画的に行います。								
事業の内容	老朽化対策について 下水処理センターの機能を維持するため、ストックマネジメント計画に基づき、西町下水処理センターのボイラー付帯設備や、勇払下水処理センターの用水設備などの改築更新を実施しました。 また、令和3年度から令和5年度にかけて、西町下水処理センター消化ガス発電設備の更新工事を継続して実施しています。								
SDGs17の目標									
	【西町下水処理センターボイラー付帯設備】		【西町下水処理センター消化ガス発電設備】 （令和5年度完成予定）						
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R3年度	R2年度			
	更新機器数		点	3	36	23			
項目評価	高 → 低			評価の理由					
	4	3	2				1		
	有効性	●							下水処理センターの施設整備や改築更新を行う事業であり、衛生的で安全安心な市民生活の維持に欠かすことができない事業です。
	効率性		●						国の交付金を活用しながら、経営戦略及びストックマネジメント計画等に基づき、計画的かつ効率的に事業を実施しています。
	公平性	●							公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全に資する事業であり、衛生的で安全安心な市民生活の維持に欠かすことができない事業です。
将来性	●				衛生的で安全安心な市民生活を維持するため、継続して事業を実施していく必要があります。				
総合評価	A			衛生的で安全安心な市民生活の維持に欠かすことができない下水処理センターの施設整備を、国の交付金を活用しながら、経営戦略及びストックマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に実施しています。					
特記事項	事業費には、人件費が含まれています。								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 04固定資産取得費

事務事業番号 01010408

事業名		固定資産整備		担当部署	上下水道部 下水道課、下水処理センター															
根拠法令		下水道法、下水道法施行令、苫小牧市下水道条例、水質汚濁防止法																		
令和4年度決算額		1,704	千円	項目評価																
財源内訳	国道支出金		千円																	
	地方債		千円																	
	その他		千円																	
	一般財源	1,704	千円																	
事業費（総計）		1,704	千円	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総合評価</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>				総合評価		A										
総合評価																				
A																				
決算額		1,704	千円																	
人件費		0	千円																	
事業の目的		下水処理センターや下水道管の機能を維持するため、維持管理や改築更新に必要な固定資産の整備を計画的に行います。																		
事業の内容		<p>SDGs17の目標</p> <p>1 水質検査用機器類の更新</p> <p>(1) 遠心分離機 1台 水の遠心分離を行い、浮遊物質を管底に沈殿させるための機器</p> <p>(2) 溶存酸素計 1台 水の溶存酸素を測定するための機器</p> <p>(3) デジタルビューレット 2台 水質検査（滴定）、試薬の分注に使用するための機器</p> <p>2 ソフトウェアの購入</p> <p>(1) 更生自立管構造計算ソフトウェア 1式 更生管の耐震性を照査するためのソフトウェア</p>																		
実施結果（活動指標）		<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>R4年度</th> <th>R3年度</th> <th>R2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水質検査用機器類の更新</td> <td>台</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>ソフトウェアの購入</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>				指標名	単位	R4年度	R3年度	R2年度	水質検査用機器類の更新	台	4	4	4	ソフトウェアの購入	式	1	-	-
指標名	単位	R4年度	R3年度	R2年度																
水質検査用機器類の更新	台	4	4	4																
ソフトウェアの購入	式	1	-	-																
項目評価		高 → 低				評価の理由														
		4	3	2	1															
有効性	●					各種水質基準値を正確に計測するための機器更新や管更生を効率的に行うことは、安全安心な下水道につながります。														
効率性	●					各種機器類については機器更新計画に従い、老朽化度合いも確認しながら順次更新しています。														
公平性	●					機器更新を計画的に行うことで、水質検査が適正に実施されます。また、放流水が水質基準に適合しているかどうかは、市民の安全安心な生活に直結しており、必要不可欠な事業です。														
将来性		●				今後も、計画的に各種機器を更新することで、正確かつ効率的に業務を実施できるようになります。														
総合評価	A		目的に合った固定資産の整備ができています。翌年度以降もより効率的な事業とするため、導入予定の固定資産の有効性、業務効率化について十分検討し、費用対効果の高い資産整備を実施していきます。																	
特記事項																				



【遠心分離機】